

DBコンバートの使用方法（初めにお読みください）

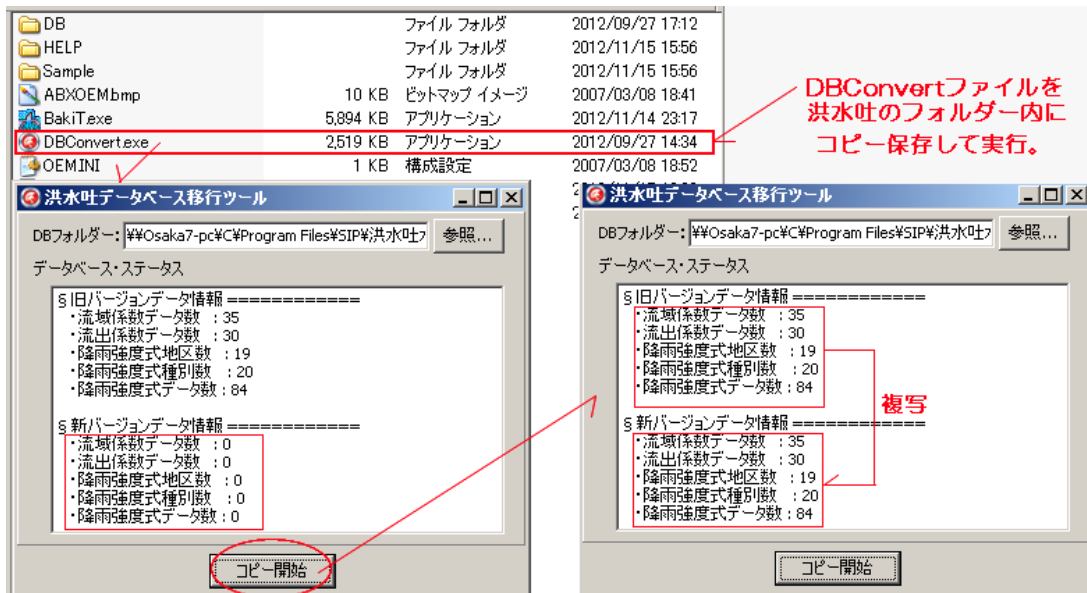
平成 24 年 11 月 22 日
(株)SIP システム

今回、弊社では従来既存のデータベースエンジン（DBE）を使用していましたが、今後の OS への対応等を考慮しオリジナルな DBE をご提供させて頂く事としました。また、Windows7 等では「Program Files」のフォルダー（サブフォルダー含め）への書き込みが制限される。」等の経緯もありユーザフォルダーにデータベースファイルを取得作成するようにしました。

よって、既に「洪水吐水理計算システム Ver3.2」をご利用のユーザ様において、同様の DB ファイル（流域・流出係数や強度式を変更・追加登録した DB）を「洪水吐水理計算システム Ver3.4」においても使用されたい場合は、「DBConvert.exe」にて以下の要領でデータ変換を行う必要があります。

<操作手順>

- ①データコンバートは、旧 Ver プログラム「洪水吐水理計算システム Ver3.2.7.201（より以前の Ver）」がインストールされている状態でを行います。
既に、削除された場合は、再度旧商品プログラムとなる「Ver3.2.7.201」をインストールして下さい。
- ②ダウンロードされた修正版プログラム（Ver3.4）を解凍し、Ver3.4 プログラム「setup.exe」と DB コンバートファイル「DBConvert.exe」が解凍されている事を確認して下さい。
また、同時に解説書「DB コンバートの使用方法（初めにお読み下さい）」（PDF）もご確認下さい。
- ③「DBConvert.exe」を、旧 Ver がインストールされているフォルダー（通常 c:\Program Files\SIP 洪水吐水理計算システム）内にコピーして下さい。
- ④コピーが完了しましたら「DBConvert.exe」を実行します。下記画面が表示されます。



- ⑤起動画面では、「DB フォルダ：」欄には現 DB の登録先フォルダ名が表示され「データベース・ステータス」欄の「旧バージョンデータ情報」の項目には、その時点で登録されているデータベース内のデータ数が表示されます。

DB フォルダが表示されない場合は、Windows の検索機能で"Rain2002.MDX"を検索して下さい。

- ⑥旧バージョンのデータ数を確認しましたら、「コピー開始」ボタンをクリックして「新バージョンデータ情報」の欄に「旧バージョンデータ情報」と同じ値になっていることを確認して下さい。

以上で DB のコンバート作業は完了です。

※この後、旧 Ver3.2 を削除され、新 Ver3.4 をインストールして「データベース編集画面」でデータ情報がコンバートされているか？ご確認下さい。